

達人リコメンドの四国～アートな神山町

1. 神山(かみやま)

神山と書いて「かみやま」と読みますが、京都産業大学出身者としては、神々の鎮まりませる山、我らがキャンパス「こうやま」と読みたくなりますが、山深く、神々の伝説が残るという意味で共通する地ですから、ある種、里帰り気分で、神山町を探検することになりました。



2. 現代のアート

神山にあるものは、雄大な自然。山林、溪谷、徳島県の誇り・すだちのメイン収穫地ですが、平たく言えば何もありません。神山町観光ガイドから引用しますが、「雄大な自然に恵まれたロマンの里、神山。四季折々の光と緑につつまれた、空気までおいしいナチュラルリゾート」・・・って、田舎やったらどこでも当てはまるでしょ。そんな神山の町おこしのテーマは、アート。



世界各国の作家から協力を得て、アートで自然に飾り付け。菜の花あふれる棚田にチャペル風の塔。後方の桜、石垣、山々を借景とした縁台・茶室の空間は、風が吹けば、弦が震えて音を奏でる仕掛け付き。山の中には、隠れ家みたいな図書館があって、鍵が貰えるのは、神山町民で、ここに本を寄贈した人(見学は可能ですが)だけ・・・なんてルールに縛られます。



アートの中核は、昭和初期に、地元の名士・佐々木さんが、個人資産で建てた芝居小屋の寄井座です。舞台があつて、回転装置が付いていて、2階席もあつて、おひねり飛ばし放題で、演劇、映画、大衆文化の中心地として君臨しましたが、途中、縫製工場にリノベーション。天井を張って、電気配線して違う姿になったものの、平成の世に復活。

地元の皆さんの努力でアートの中心地として、リインカーネーション。展示会や、バレエ、演奏会、人形浄瑠璃など、芸術的なスペースとして貸し出しています。この寄井座が、どんな姿にメタモルフォーゼするのか、一つのテーマになるかもです。もしここに来る機会があれば、広告付きのブリキの天井板を眺めて、この劇場の行きつく姿を考えるのもアートかも知れませんね。

参考まで、芸術家が一定の地域に滞在して、創作活動を行うことを、アーティスト・イン・レジデンス。地域のボランティアと、NPO法人が手弁当で支援しています。



3. 小野さくらの野舞台

現代のアートが神山町に根付くのは、もともとの下地があつたからこそで、後継者不足が課題ではありますが、徳島の山村には、農村歌舞伎の習慣があつて、ここでも小野さくらの野舞台で、「襖からくり」が長らく受け継がれています。襖の開閉、滑車で吊るした襖絵を竹で動かすなど、完全人力の舞台転換。

陽が落ちて、照明に照らし出される色鮮やかな襖絵が暗闇に浮き上がるなんて風景で観客を魅了しますが、今回は、年に一度の定期公演に備えてのスタッフの皆さんの準備する姿を見させていただきました。



そんな手作りの舞台が・鮮やかな襖絵こそが、神山町に受け継がれてきたアートなのです。

4. 観月茶屋(岳人の森)

193号線を登って、岳人の森の入口に位置する観月茶屋の地産地消、神山の美味しいものがぎっしり詰まった花見弁当が、アートです。

写真左から、筍ごはん、梅干しで炊いた大根に菜の花と湯葉、ワケギと蒟蒻の和え物、天然鮎の甘露煮とジビエ・鹿の照焼、卵焼き添え。薬膳の香り漂うゴマ豆腐。続いて、天然あめごの竜田揚げと地物シイタケの和え物、祖谷そば(つなぎが少なくそば本来の味が楽しめる逸品・・と蕎麦好きの友人絶賛)と続いて、最後のデザートは、周辺で摘むワラビから仕込むワラビもち。自家製黒蜜ときな粉にまぶして食べるとシアワセ～！食のアートが勢揃い。神山の恵みに感謝です。参考まで、お一人様2500円でございます。

また、ここ岳人の森は、ヒメシャガやシャクナゲが咲き乱れる花のアート博覧会だそうです。





5. 枝垂桜

神山町のメインのアートは、枝垂桜。アクセス道路の438号線沿いは満開の桜で目がくらみます。地元の人が株分けして植え続けて、大切に育てた結果が、こんな素晴らしいアートとして大きく実りました。



さて、先の観月茶屋で教えて貰った秘密情報。

個人資産の山一面が枝垂桜。株分けして植え続けて育て上げるだけでなく、上から見たいと火の見櫓みたいな展望台を作って、手作りのブランコ、ピザ窯、カラオケやお食事ができるスペースまで作った、大人が遊べる桜の公園が、西ノ名という地区にあるそうです。

国道193号線から細い道を進んで、行き止まり。可愛いワンコと、この空間を仕上げたアーティストのお出迎えと共に、山一面が、枝垂桜のアート・スペース発見。火の見櫓に登って枝垂桜の海を見下げるなんてすごい体験をさせていただきました。絶景というにふさわしい光景ですが、手作りの火の見櫓は高所恐怖症の人にはお勧めできない展望台かもしれません。



そんなこんなで、今回訪問できなかった、神山温泉と、焼山寺を合わせて、達人リコメンドのアー
な自治体と勝手に認定したいと思います。興味のある人は、ぜひ、神山を訪問して下さい。移住な
んて選択も、有りですよ。

6. 徳島

今回の徳島訪問は格別。初日は、大阪からの友人と一緒に鳴門・渦の道と徳島・ひょうたん島ク
ルーズからの、夜の徳島満喫。昭和の頃、共に高松で遊びまわっていた友人と再会。鳴門鯛に阿
波尾鶏、蕎麦米雑炊食べて、徳島ラーメンからの～カラオケ。時代を超えた楽しい夜を過ごしまし
た。楽日の神山も四国観光の大先達の友人のご案内でアートを満喫できました。

今回の旅にお付き合いいただいた皆さんに感謝すると共に、徳島に感謝。

次も徳島行きますか・・・





平成28年4月4日記(旅は4月2日～3日)

[Top](#)
[トップ](#)
[へ](#)

[Back](#)
[戻る](#)



[達人リコメンドの四国～続・神山、お礼参り](#)